



五 金剛社 ム

ウ
ン



昭和20年8月一

カミノダ

奇譚事件録・其ノ貳



※この漫画はフィクションです。歴史や実在の人物や団体などとは関係ありません。



見
だ
な
い
顔
だ
な
い
…

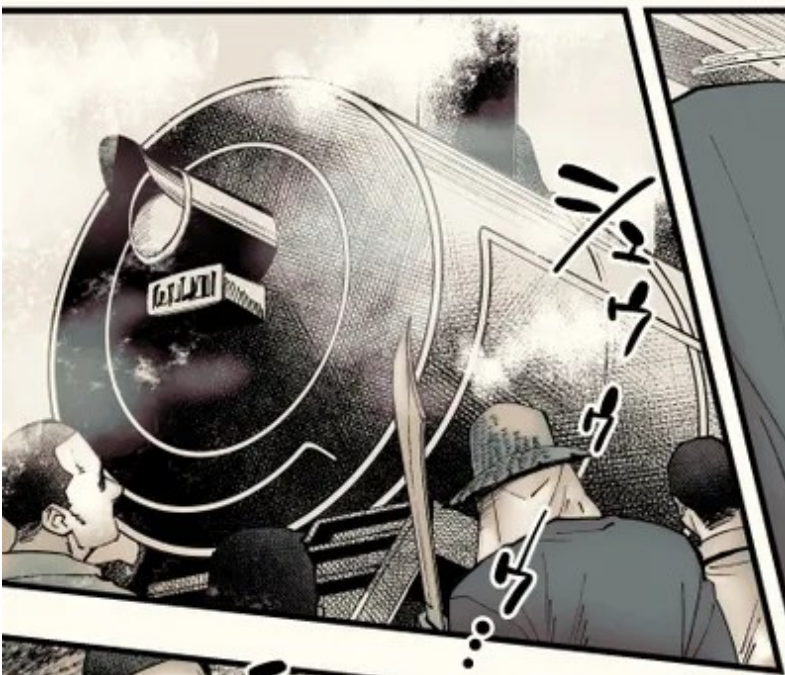




ようやく
会える…



なんとか
ここまで
来られた…

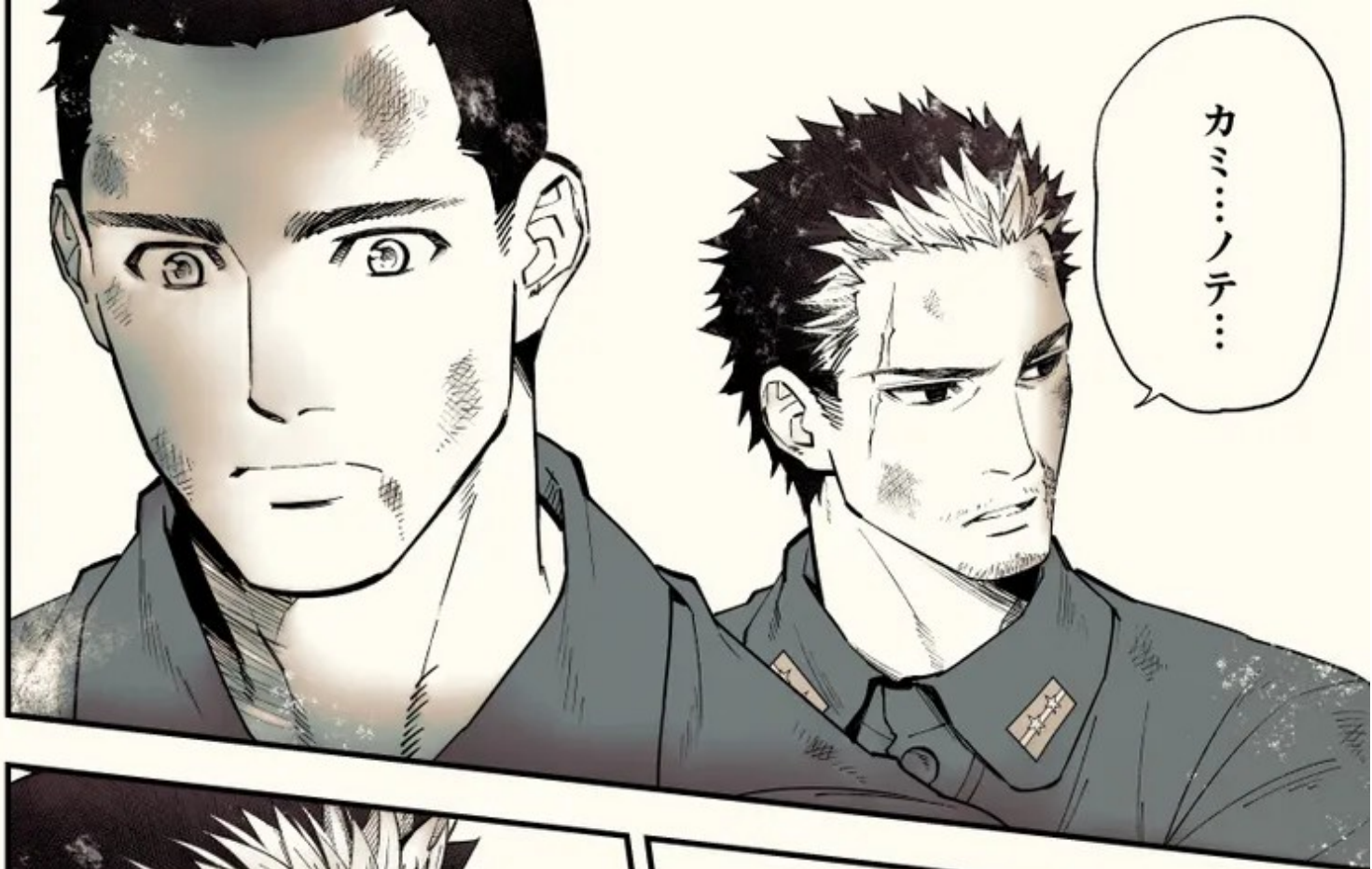












カミ…ノテ…



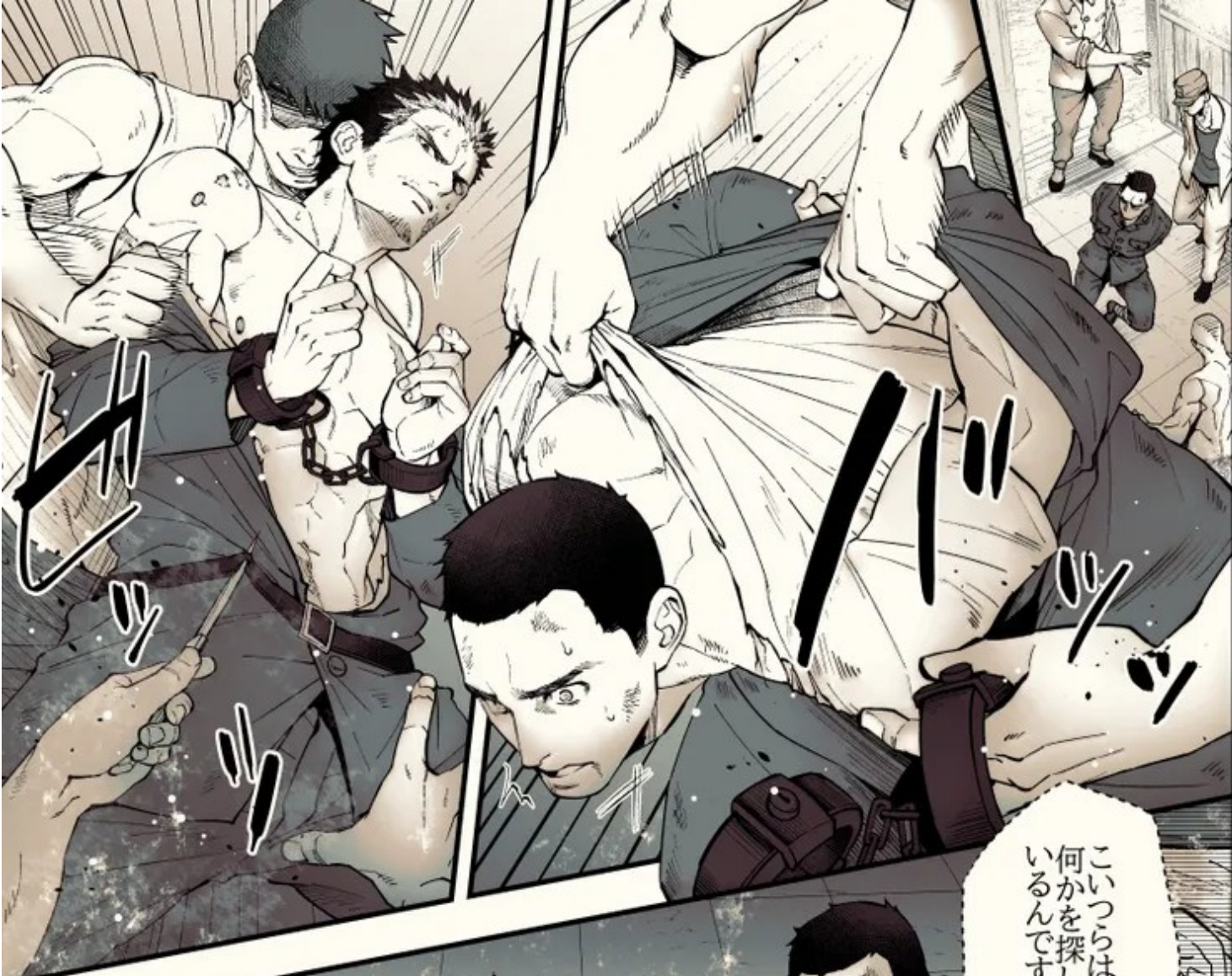
カ…ミノ…テを
出せと言っている



他の連中にも
聞いている…



え…



こいつらは何かを探しているんですか？



身体検査と拷問で全部調べるらしいな

無いとわかったら殺されるぞ黙っておけ

где это?
(どこにある?)

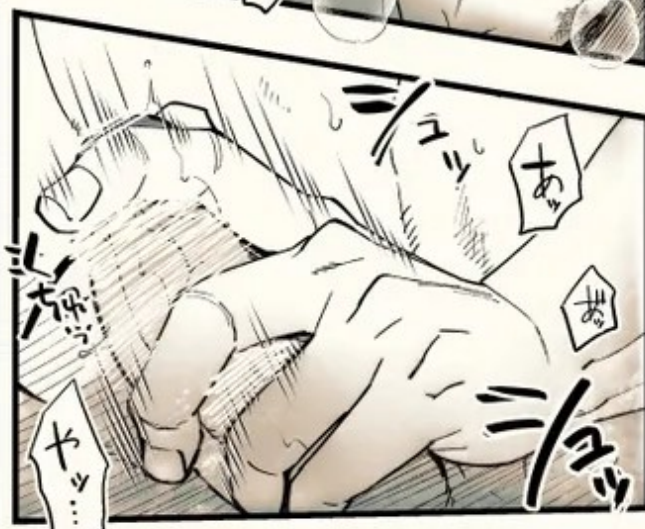
そんなところ
にあるわけ
ないだろ...ッ

передай это
сейчас
(今すぐ渡せ)



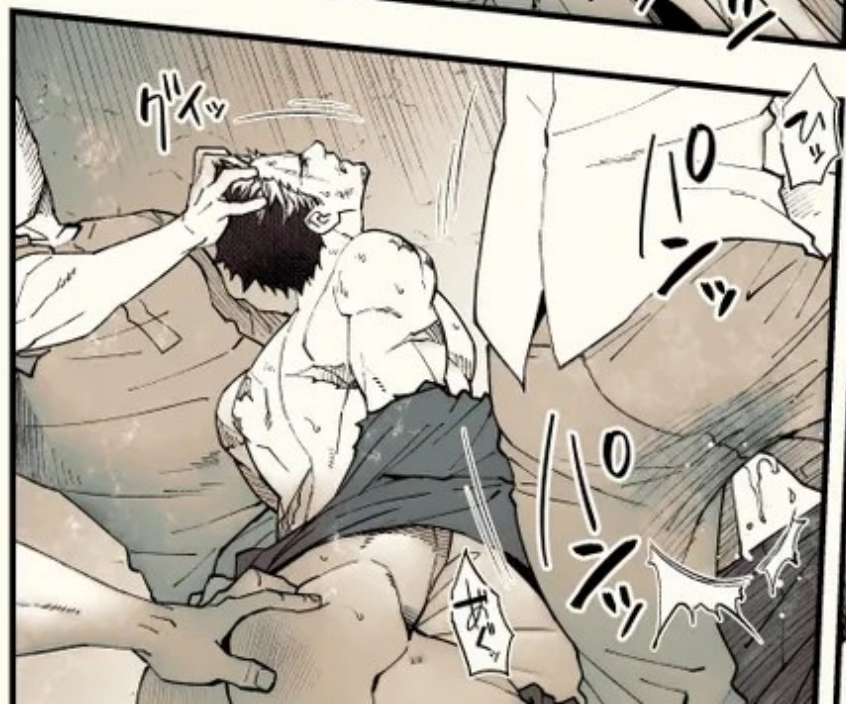
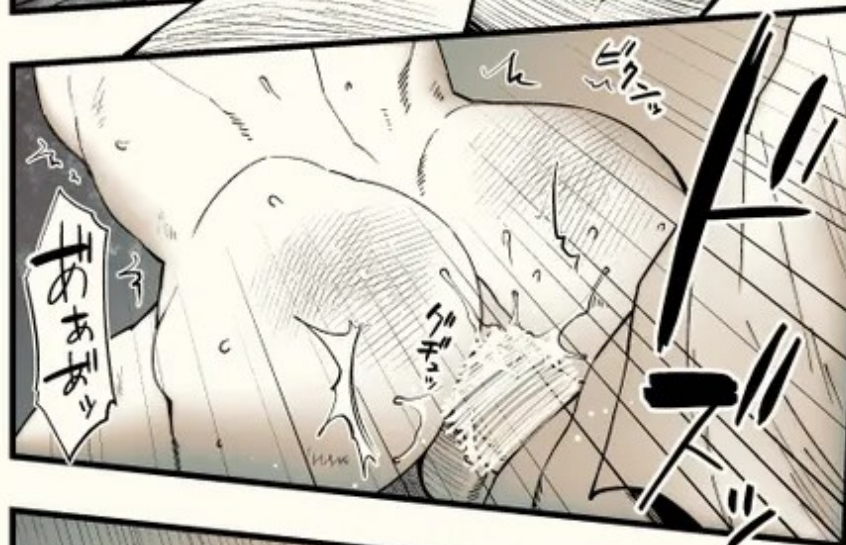
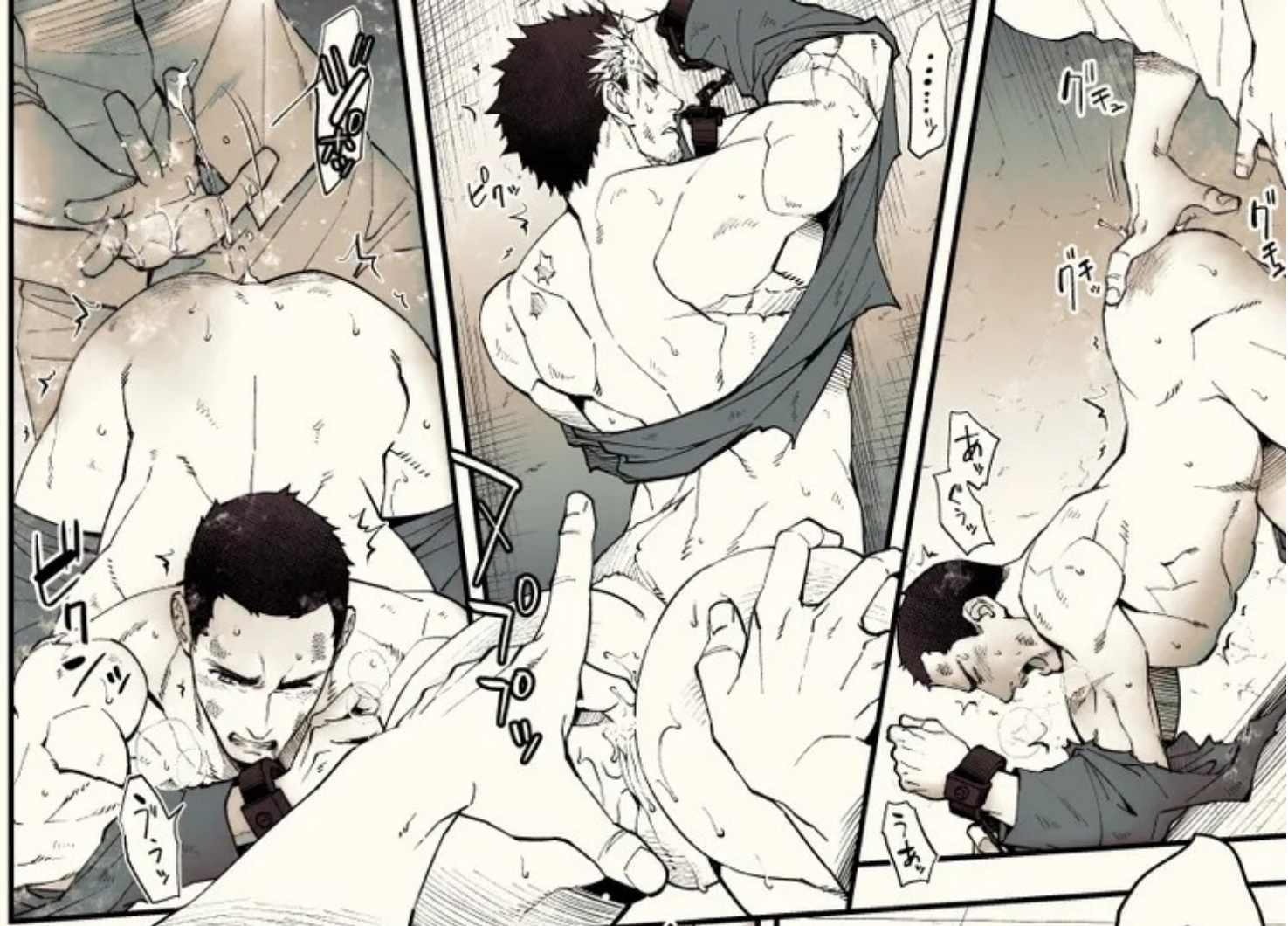


Это испытание
терпения
(さあ、我慢比べだ)



Здесь
ты прачешься
Разве нет?
(ここに隠してるんじや
ないのか?)









Я научу тебя, как
чувствовать
себя лучше.
(もっとよくなる方法を
教えてやろうか?)



задыхаться.
(窒息することだ)



あいつらは
何を...



「こいつらは
持って
いなかった」



「早く始末して
次の列車を襲う」



し...始末...



...起き
られるか?



...やるぞ







はいっ

すぐに
出来る限り
遠くへ行く！

地形が
わからないが

町を見つげられれば
紛れて逃げ込めば

名前は
やなせ ひでゆき
梁瀬 秀幸です

よろしく
お願いします

新見 昭だ







我們很快就要離開
請分享一些食物？
(私たちはすぐに立ち去るので、
何か食料を分けて
いただけないだろうか？)



…
謝謝



あなたたち
日本人だね

大丈夫
わたしたち
日本語
わかるよ



謝謝



食事だけでなく
寝床も用意して
くれて…

本当に
たすかりましたね

ああ…

早めにここを
出ておきたい
ところだが

だいぶ歩いたから
からさすがない
大丈夫なのは…

襲って来た連中が
近くにいるかも
近づくに動
しな重ければ
しな重ければ





連中は何かを
探していた

この場所にも
来るかもしれない


用心することはない






誰か…？


だれか…いるのか？



起きるか…




起きられない…



なんだ…
足元から…



生温かい



何かが…



人の手…？



くそ...っ

動けない...い



なんで...

また...

ムルムルムル

ムル

んっ

んっ

ムルムルムル

んっ

ムルムル

んっ

んっ

ムルムル

ムルムル

ムルムル



なにが...
おきて...っ

チツ

ハッ

ハッ

ハッ

あ...あ

あ...

あ...

あ...



何から何まで
世話にな
ってしま
いすま
ない



道は険しい
馬車が一週間に一度
出ているが

それは昨日
行ってしまった

そんな…



集落から
市街地へ行くには
どうしたら
よいだろうか？



わかりました

もしよろしければ
仕事の手伝いを
したいのですが
構わないでしょうか？

そんなことを
してる時間
に連中に見つ
かっただら
しょうか？



この集落の
人間たちは
現地人だ

少しでも不自然に
浮かぬように
大人しくして
おくしかない

少しの辛抱だ

それに
一宿一飯の
恩義もある



老人が言うには
儀式の祭が
1週間後にあり



そのため村から
街まで車や
馬車等の手段は
使えないとのこと

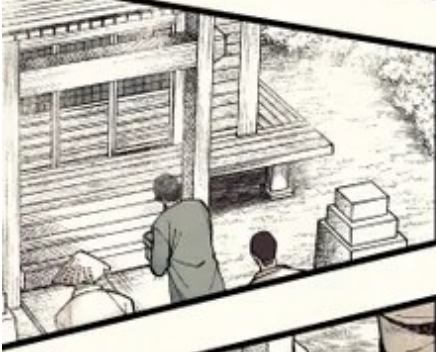


儀式の準備で
村の男たちが
神社に集められる

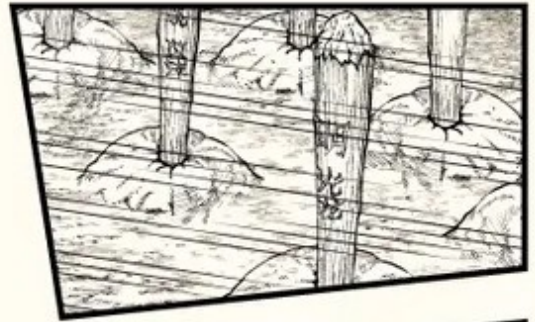


儀式の為の
祭壇を作るとい
力仕事を手伝
行くことにな
たに





墓地…？




君たちは臨時で
手伝いにきたん
だって？



奴らの
仲間らしき者は
みあたらないか…







俺は『角雄策
(すみ ゆうさく)』

よろしく!



祭壇を作る責任者
「角雄策
(すみ ゆうさく)」
彼も日本人だ

ご神体には
はいつてもらう
空洞が
真ん中にあり

周囲が2段に
なっており
階段で
上り下りできる



神事の祭壇を
組み立てることなど
変わったことはいが
変わった形だと思った

自分が知らないだけで
きつと世の中には
色々な祭の形が
あるのだろう





俺は軍から
逃げて来たんだ

脱走兵だから
処分されるかと
思ったが

戦争が
終わった今
どうなるかは
わからない

故郷の武蔵野も
空爆で酷い被害を
うけたらしい…

日本に帰っても
戻る場所など
ないから

武蔵野…
同郷だな

おっ
本当か！

よろしくな！







一、祭事を毎年九の月初めに行う
奇数年は男子 偶数年は女子が
主体となつて行う

二、設計図に従い祭壇を作成せよ
毎年新しい物を用意せなければならぬ

三、祭壇に上がつて
ご神体である御産身と交われる者は四名
始まる際に必ず神事用の御聖水を飲む

四、御産身と交つた男子は
御産身の中に子種を残す
御産身と交つた女子は
御産身の子種を自身の胎内に宿す

日本語で
祭事の内容が
書かれている…

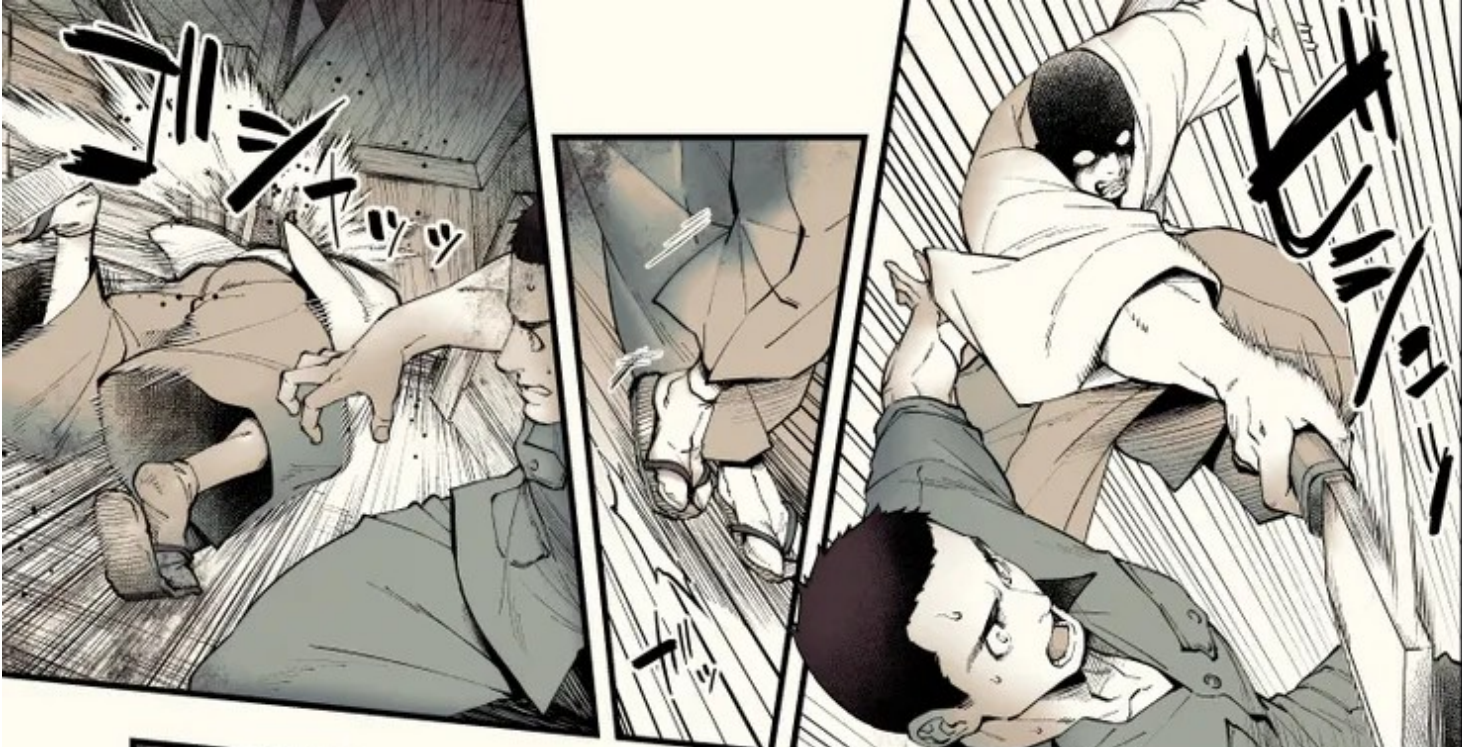
禁忌事項

御産身に触れてはならない
必ず儀式に使われる
御聖水を飲み干すこと
扉の中を見てはいけない



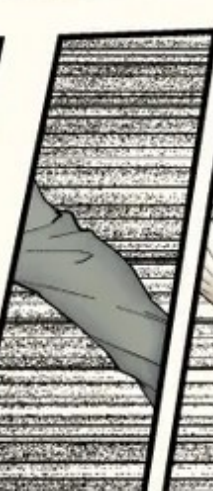








うわあああああッ





死な
な
か
つ
た
の
い
か
な
か
…

さ
つ
き
に
…
確
か
に
…

大
な
し
た
事
の
か
…
な
か
つ
た
の
か
…

き
つ
と
作
業
に
戻
っ
て
い
る
ん
だ

だ
が
…

彼
は
ど
こ
に
も
い
な
か
つ
た
も

初
め
か
ら
…

存
在
し
て
い
な
か
つ
た
よ
う
な
…

い
い
な
か
つ
た
と
言
う
よ
り



逃げがた
ほ...

おかしが
か...



この村...



なんだ？

あの...

.....



どうした

？



な...何でも
ありません

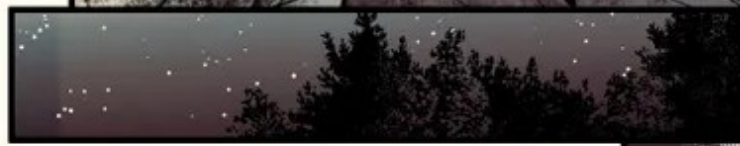


はい...



顔色が悪いな

今日はもう戻って休め



あいつは
両目を失って...

帰還中に...



似ている



だが違う





そんなこと
オレのこと
気になる？



話があるんだ

オレの家まで
きてくれないか



：いやこそ
失礼した

ああ
待ってくれ



おっと
悪い



…何の
つもりだ

興味が
ない

!

「カミノテ」

探し回ってる
連中が
いるんだろ？

オレは
知っている

話とは
その事か

ならば
帰らせて
もらう

…何が
言いたい？

待って

この村で
若い女が
いないから

溜まってん
だろ

男は
初めてじゃ
ないんだろ？



溜まって
しょうがないよ

この村は
若い女が
少ないから



ん...





頼むよ





そのまま
立てる？

取引は
公正じゃ
ないとな



やめろ…
…ッ
必要ないっ

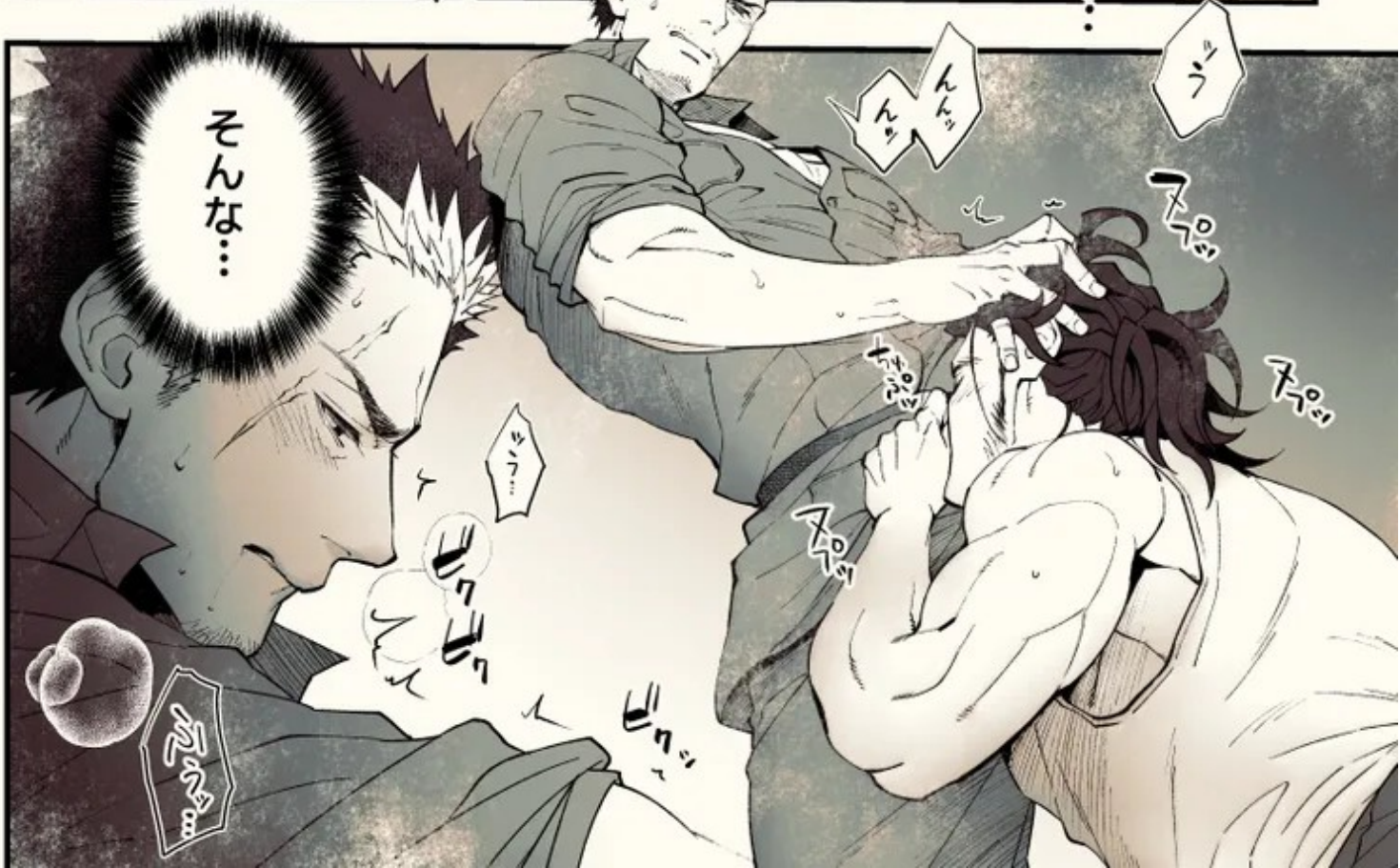


こんな風
になってるけど？



おまえも
溜まってる
だろ？

よくして
やるよ





浩太郎と同じ顔で...

こんな...

アハッ
アハッ
アハッ

アハッ
アハッ
アハッ

アハッ
アハッ
アハッ



「カミノテ」って
やつは薬なんだ

しかも
とんでもなく
高額で
取引されている

この村で嚴重に
祀られているが

心配ないさ

儀式の時に
奪えるチャンスが
ある

この村に
来てからずっと
準備をしてきた

村のはずれに
使っていない
小屋がある

そこに
脱用に
馬を隠してある

梁瀬にも
知らせないと

…あいつは
もう…

ムリだろう…

まい返事
まってるぜ







「角 雄策」

「河津浩太郎」は
もういない…



…なぜだ…

…

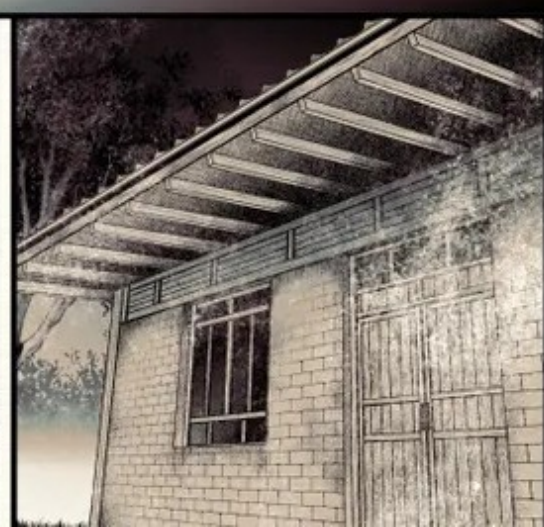
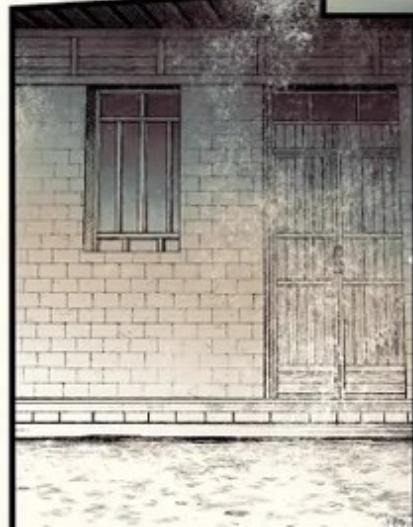
顔が酷似している
だけではない

…しかし…



この
感情は…

彼に…
惹かれて
しまっ
て







儀式を終えた後は
身籠った御産身は
赤子を出産する

子供は
十日すれば
産まれてくる

あの儀式で
本当に
そんなことが？

成長速度は
1年にして
成人となる

にわかには
信じられない
内容だが

日本語で
ここまで
詳しく
書いてある…

あの神社は
日本由来の
ものなのか…



儀式に成功すれば
その者の魂は
死後に楽園へと
導かれる

儀式に失敗した者の魂は
失産した者の魂は
御身に養分となる
食いつくされる




死後の楽園

この村の
祭りは


その為に…






儀式に
成功した
子どもは

どこに
いるんだ？



待てよ…



この村は
一体…



手伝って
もらっているのに
すまねえな

このあと酒宴が
あるだろうから
楽しんでくれ



まさか…

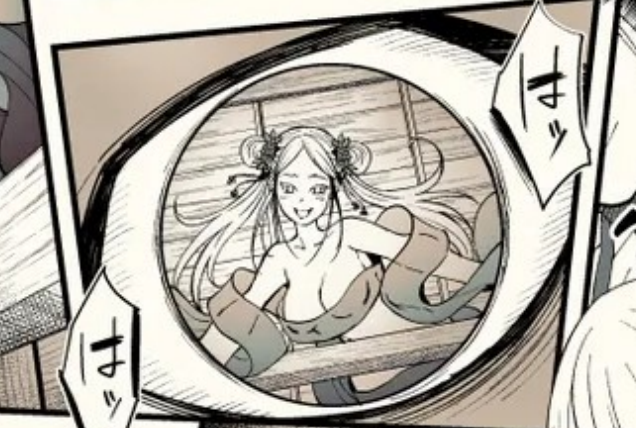


世話になって
いるから
気にするな





あの祭壇に
みんなが…



儀式の
生贄となるものは
性交相手の
幻覚を見る







「神」も
粹な計らいを
してくれる

じゅうぶん
楽しませて
もらうと
するよ





今だ



「すま...」



すこいつと
すり替えて...



この村とも
お別れだ



うぐえけ
ねえけ...う

しまった...

うぐえけ

うぐえけ

うぐえけ

うぐえけ

うぐえけ

うぐえけ

うぐえけ

うぐえけ

うぐえけ

うぐえけ

うぐえけ

うぐえけ

うぐえけ

うぐえけ

うぐえけ



く…そッ

ぐう…

あと
少し…

少し…で…

朝日が昇るまで
こちらで
お控えください



安心と
言われても
あんなのを
見たら…

では…

ご安心を…
祭りの
行事の一環です

あの人は
大丈夫
なんですか？

ああ…



…梁瀬?



…すごいなあ…

あれ…全部『カミノテ』の力ですよ



カミノテ



絶対
そうですよ

すごい…

あの力が
欲しい…

そう
思いませんか?



まずいな…

やはり角あいつの
言つていた
通り…



…ぐ…







ト...ト...

ト...

ト...

ト...

ト...

ト...

ト...

ト...

ト...

ト...

ト...

ト...

ト...

ト...



儀式終了後は
生贄たちは
祭壇へ向か
それぞれ定
場所で待機
する



そして
そのまま
朝日が昇る
祭壇の前で
過ごす



いいなあ…
カミノテが
ある場所に
行けるん
ですよね

いいなあ…



…終わった
んですかね？

さあ…





再び
神事に
奉納
されるに



祭壇の
神体は
ご回収
される



あの小屋で
待っている



誰にも
見られ
なかつ
たか？



ああ…



儀式の最中に
すり替えた
本物だ

…持って
いけ

これは
おまえが
好きに使え

オレには
待つては
家族も
いないから

村ひとつを
救うくらい
金にはなるだろう

違う…！

同郷だという
おまえの記憶

すぐ気づく
べきだった

これは
おまえが
使うんだろ…！

間違いない
おまえは…



もう：
産みつけ
られたんだ



一緒に
帰るんだ！

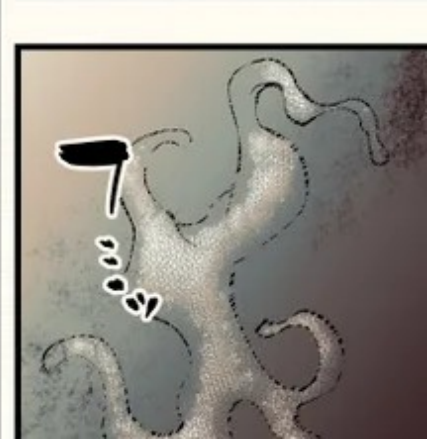


数日後に
無様な姿で
力尽きるより

ここで
終わらせる









梁瀬...

どこへ
行くんですか？



待って
ください





アハハ

…アハッ



ハハ…



ハ…?





ああ…



梁瀬…



カミノテ…

カミノテがあ…



あ
ああ…
…あ



っが

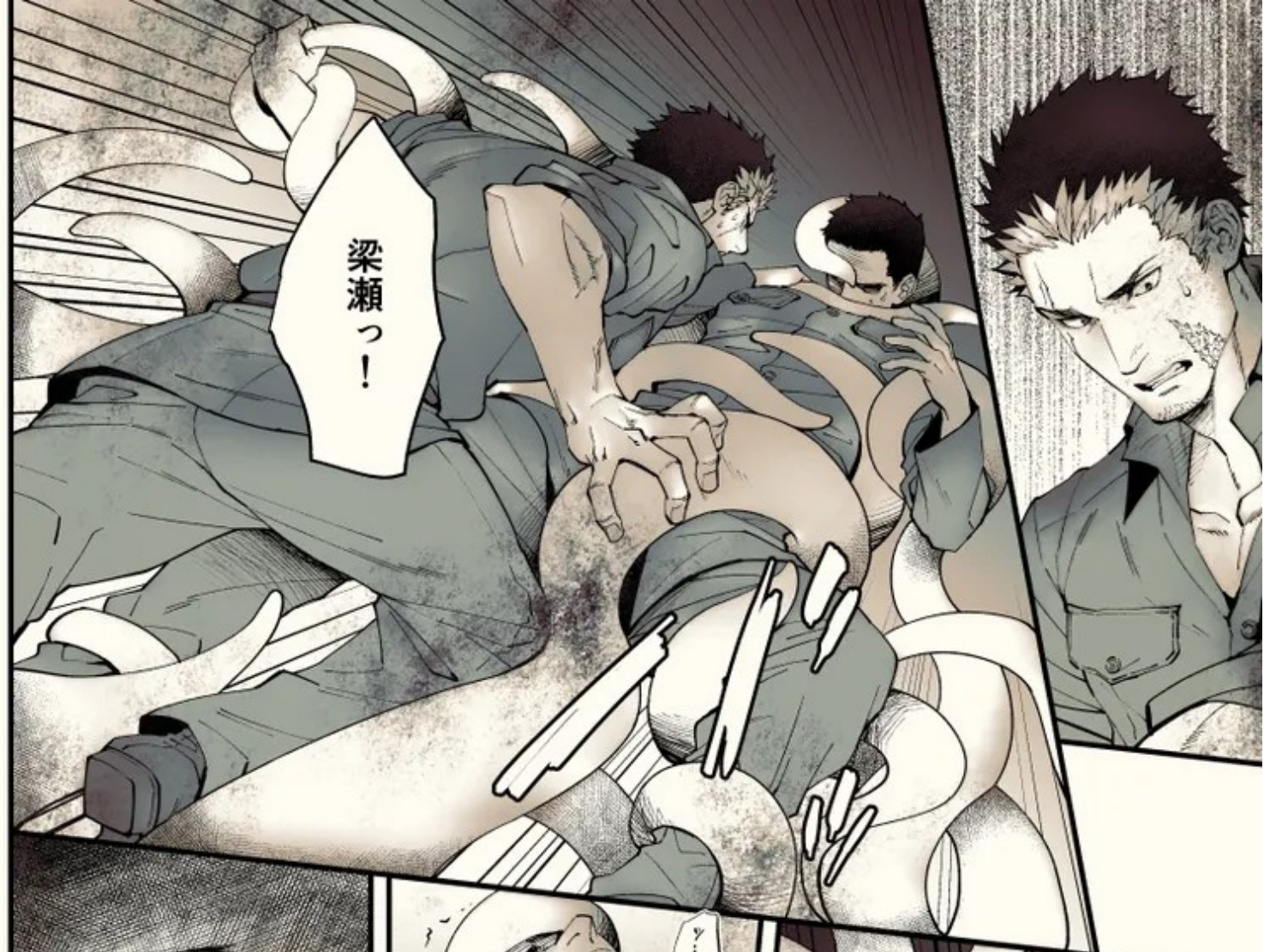
…あっ…

うんっ

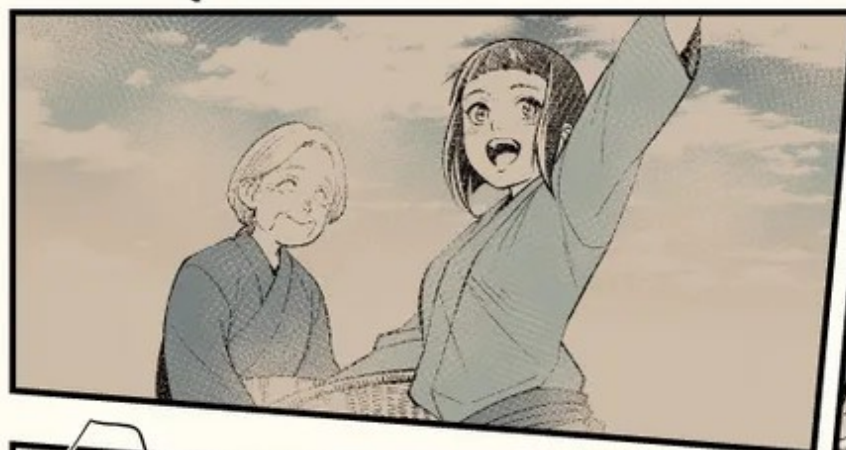
ぐっ

たすけ…

て…



梁瀬っ!



佳代...

よ



まだ...

戻れるのか...?

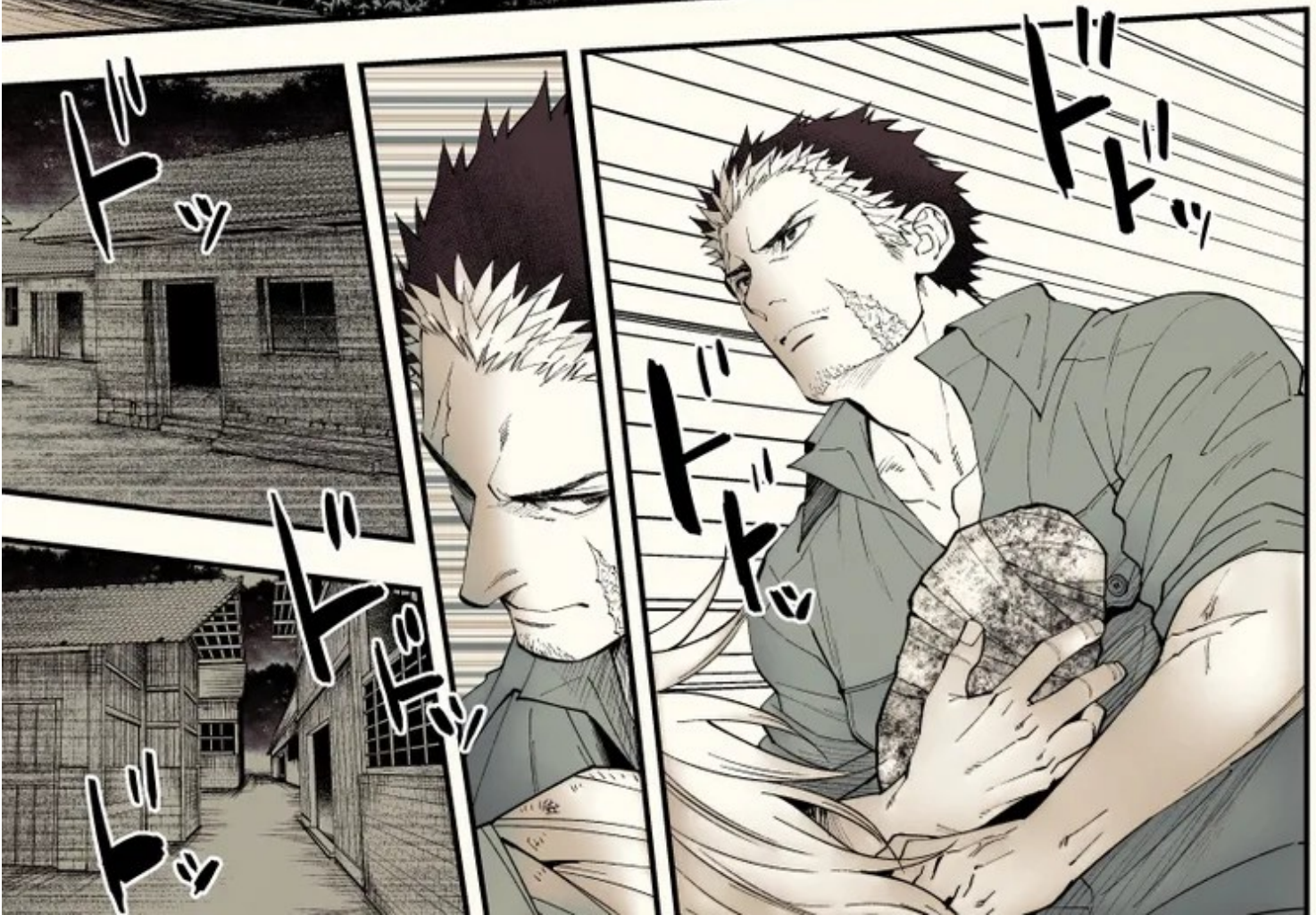


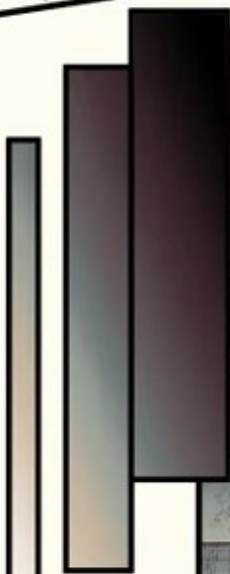
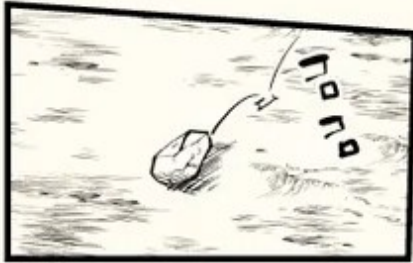
新見さ...

ごめんなさ...い

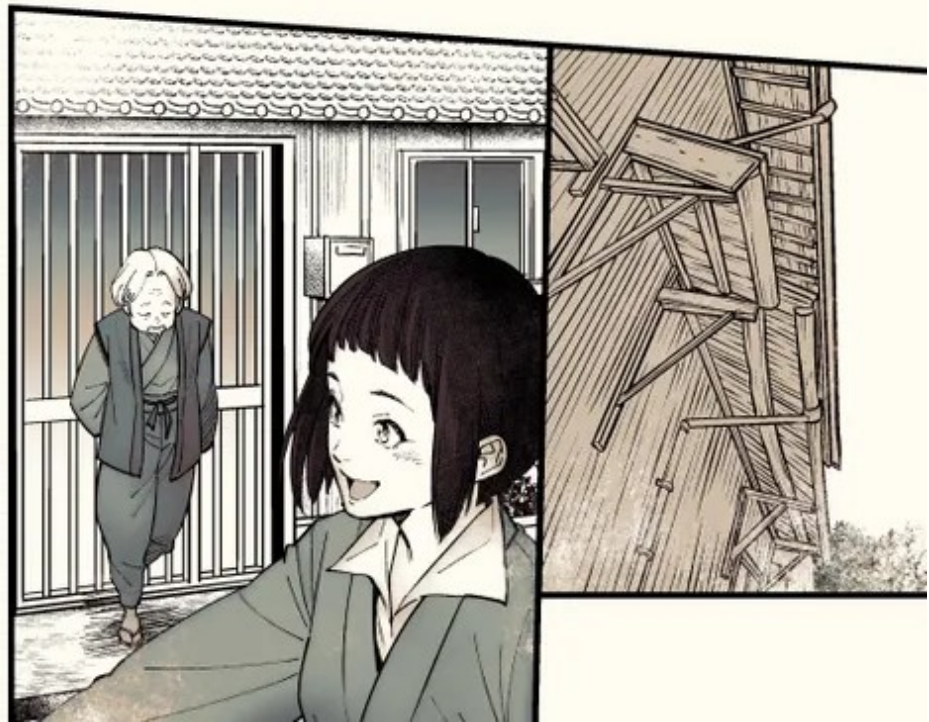
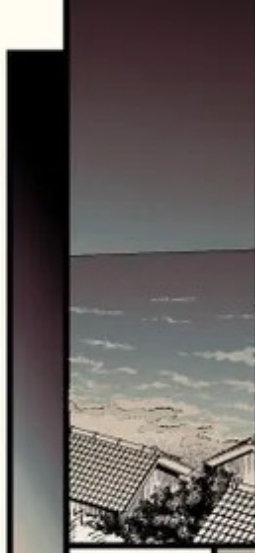
くそっ

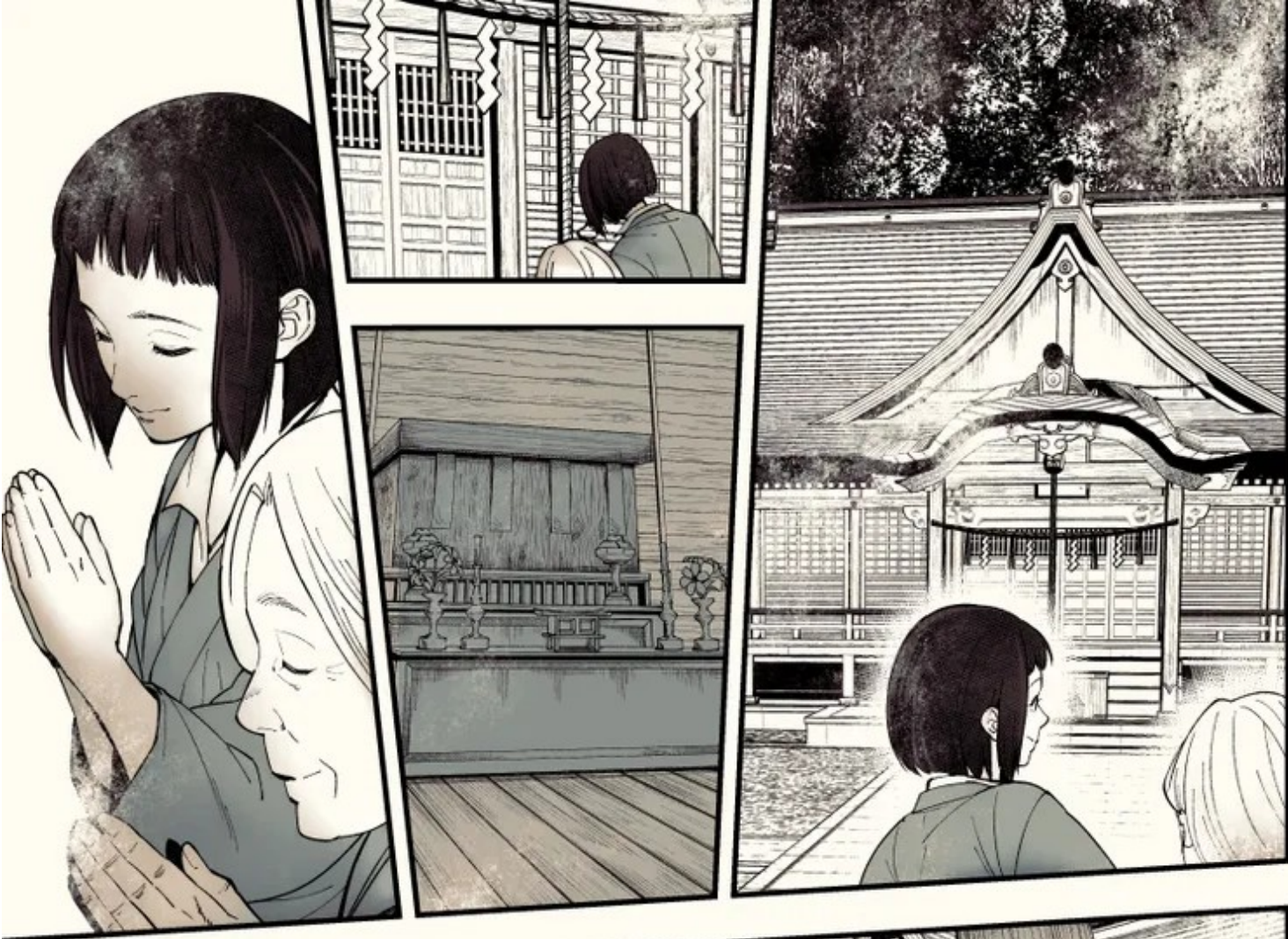












さあ
帰ろ!

ハイハイ

今夜は
お祭りだから
早く準備
しないとね

そうねエ

たのしみ
だねえ



終

昭和18年5月一

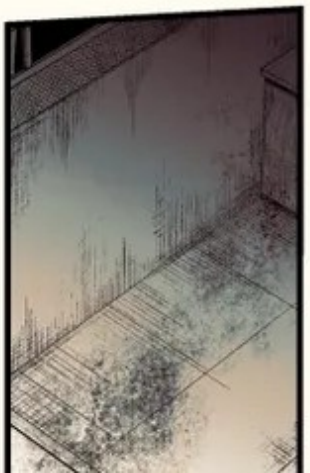


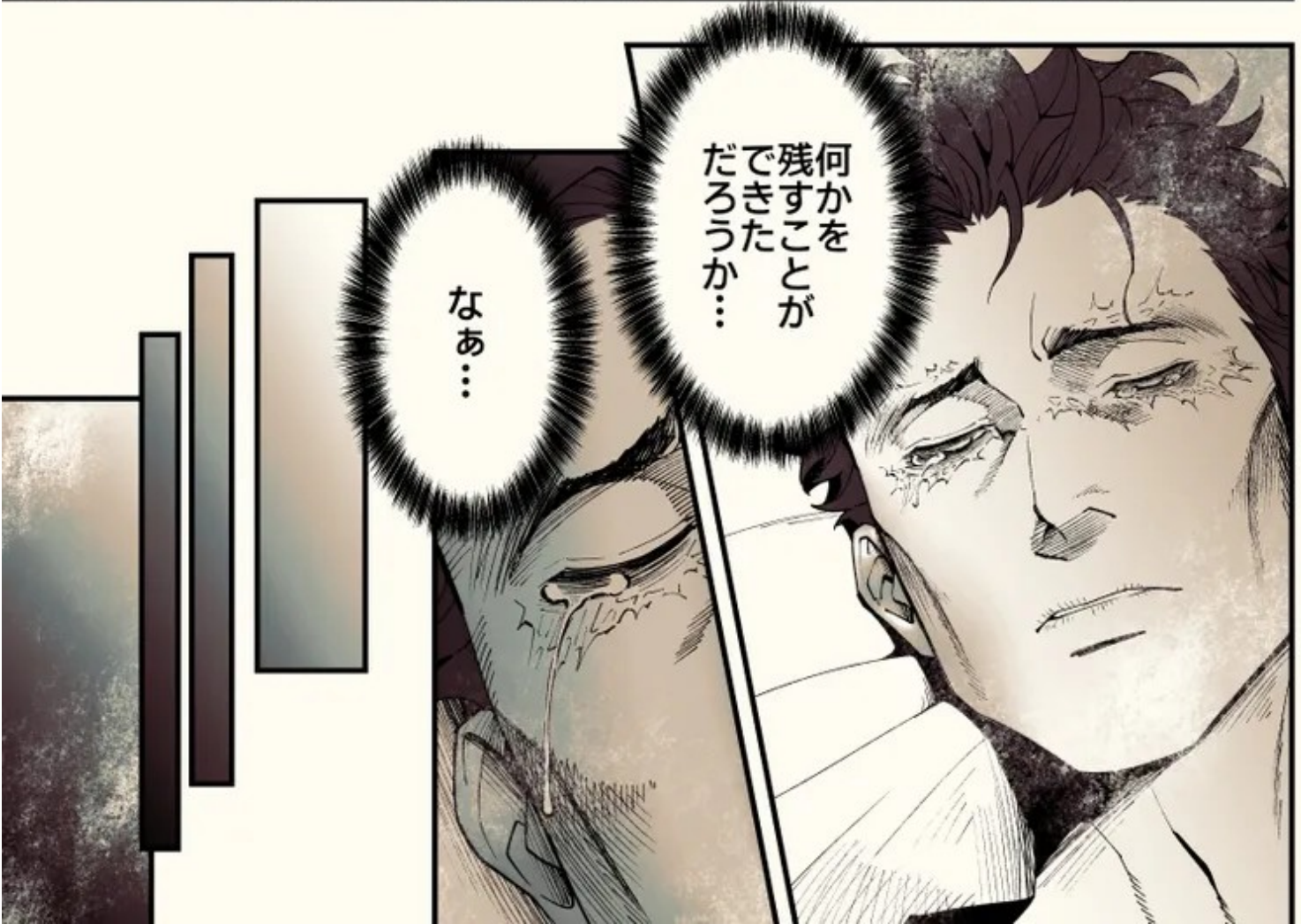




今年は人手が
足りなくてね
助かるよ

いえ...いつも
お世話になって
いますから







天
地
人
三

地
人
天
三

始